

# 第3章 生活排水処理基本計画

## 第1節 生活排水処理の現況

### 1 現行の生活排水処理体系

本市における生活排水(し尿、生活雑排水)処理体系は次のとおりです。

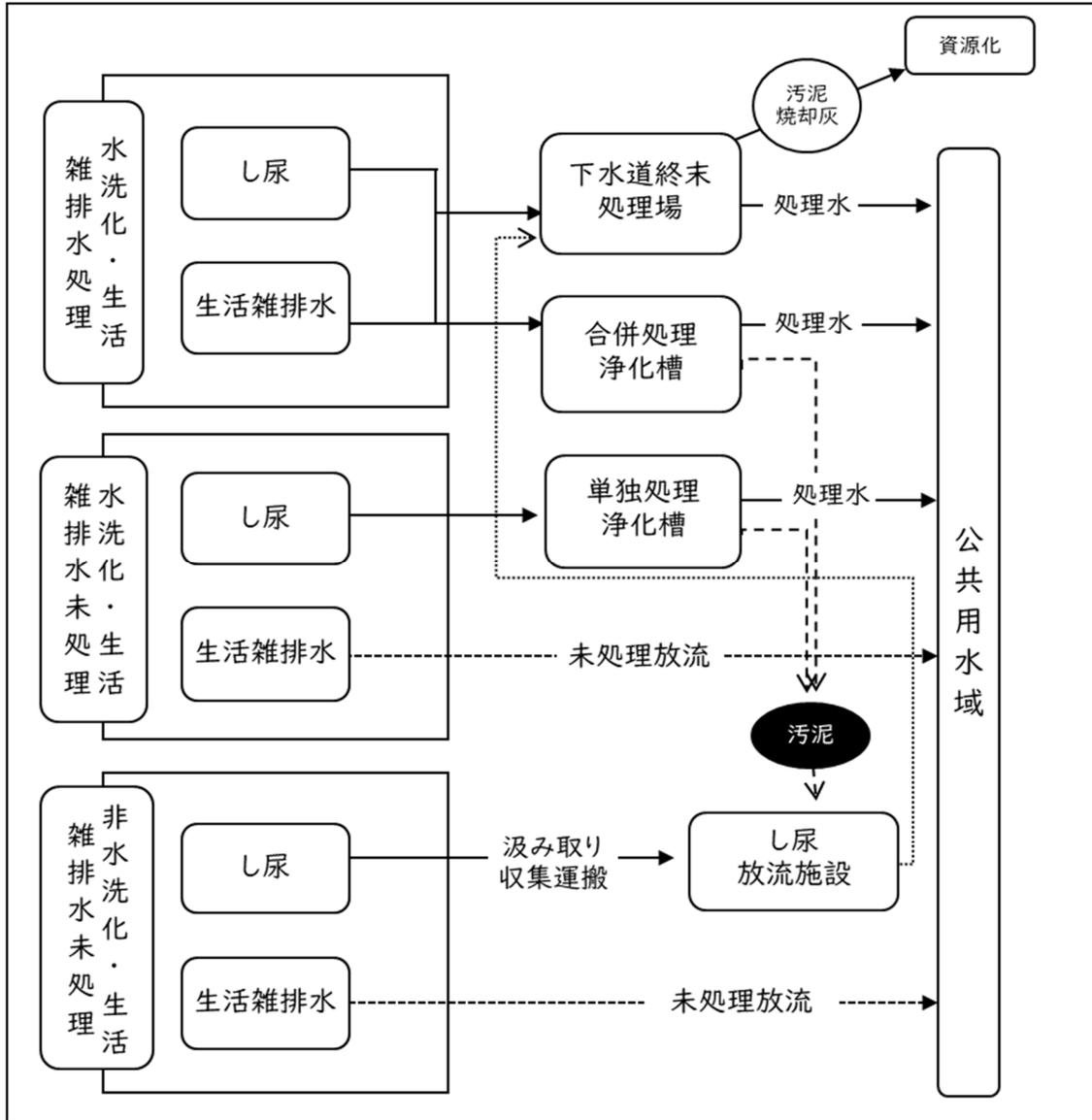


図3-1 生活排水(し尿、生活雑排水)処理体系

※生活排水とは、家庭などから排出される生活排水を示します。

※生活雑排水とは、し尿以外の排水で、台所や風呂場などからの排水を示します。

## 2 公共下水道事業概要

### (1) 処理区及び面積

公共下水道に関する処理区及び面積は次のとおりです。

表3-1 処理区及び面積

処理区名	鎌倉処理区	大船処理区	合計
事業認可区域	1,194.9ha	1,473.7ha	2,668.6ha
整備済面積※	1,187.2ha	1,424.1ha	2,611.3ha

※ 整備済面積は令和7年(2025年)3月末日現在です。

### (2) 公共下水道汚水終末処理場

公共下水道に関する処理場計画は次のとおりです。

表3-2 処理場計画

処理区名	鎌倉処理区	大船処理区
処理場名	七里ガ浜下水道終末処理場	山崎下水道終末処理場
処理方法	標準活性汚泥法	
敷地面積	1.80ha	5.28ha
処理能力	48,600立方メートル/日	56,000立方メートル/日
計画処理人口	69,530人	94,840人

### (3) ポンプ場

公共下水道に関するポンプ場計画は次のとおりです。

表3-3 ポンプ場計画

処理区名	鎌倉処理区	大船処理区
計画数	7箇所	0箇所
認可数	7箇所	0箇所
ポンプ場名	東部、小町(休止中)、南部、中部、西部、極楽寺、七里ガ浜	—

### 3 これまでの生活排水処理の取組

生活排水には、し尿と生活雑排水があり、自然環境と生活環境の保全、公衆衛生の向上、河川等の水質保全の立場から、し尿収集、浄化槽、公共下水道による処理が行われています。

#### (1) し尿の収集・処理

し尿の収集・処理に関する変遷は次のとおりです。

表3-4 し尿の収集・処理に関する変遷

年	し尿の収集・処理に関する主な事項
昭和27年12月	・し尿収集を委託により開始
昭和36年 6月	・全市の半数を市の直営で収集
昭和36年11月	・し尿化学処理場（深沢クリーンセンター）稼働
平成14年 4月	・し尿処理工程を廃止 ・し尿希釈放流施設における消臭剤投与、水道水での希釈後に公共下水道へ放流
平成17年 6月	・下水量の増加及びし尿収集量の減少から公共下水道への無希釈放流を開始
平成18年 4月	・し尿の収集運搬業務を全て委託化

#### (2) 浄化槽による処理

浄化槽には、し尿のみを処理対象とする単独処理浄化槽と、し尿と生活雑排水を処理対象とする合併処理浄化槽があり、し尿等は浄化槽で処理された後、排水路等を経由して河川などの公共用水域に放流されています。

一方、浄化槽での処理に伴い発生する汚泥は、一般廃棄物収集運搬許可業者により深沢クリーンセンターに運搬され、同施設から公共下水道に流入させています。

#### (3) 公共下水道による処理

公共下水道による処理の変遷は次のとおりです。

表3-5 公共下水道による処理の変遷

年	公共下水道による処理に関する主な事項
昭和33年 3月	・公共下水道鎌倉処理区の都市計画決定（計画区域：550ha、計画人口：65,000人）
昭和47年 3月	・七里ガ浜浄化センター稼働
昭和61年 1月	・大船処理区の都市計画決定（計画区域：391ha、計画人口：27,100人）
平成 5年 6月	・山崎浄化センター稼働
平成 8年10月	・大船処理区の事業認可区域の変更・拡大
平成14年 3月	・鎌倉処理区の事業認可区域の変更・拡大
平成20年 6月	・鎌倉・大船処理区の事業認可区域の変更・拡大
平成22年 2月	・大船処理区の事業認可区域の変更・縮小
平成26年 3月	・事業認可期間延長
平成30年11月	・事業計画変更（管きよの点検方法・頻度の追加等）
令和 3年 3月	・事業認可期間延長（鎌倉・処理区の事業認可区域の変更・拡大）
令和 6年 6月	・鎌倉処理区の事業認可区域の変更・拡大

#### (4) 水環境の現状

鎌倉市では、水環境の現状を把握するため、毎年度定期的に河川の水質調査等を実施しています。公共下水道の整備に伴い、水質汚濁の指標となるBOD値は低く横ばいで、河川の水質は良好に保たれています。

市内の主な河川のBOD値の平成27年度(2015年度)からの推移は次のとおりです。

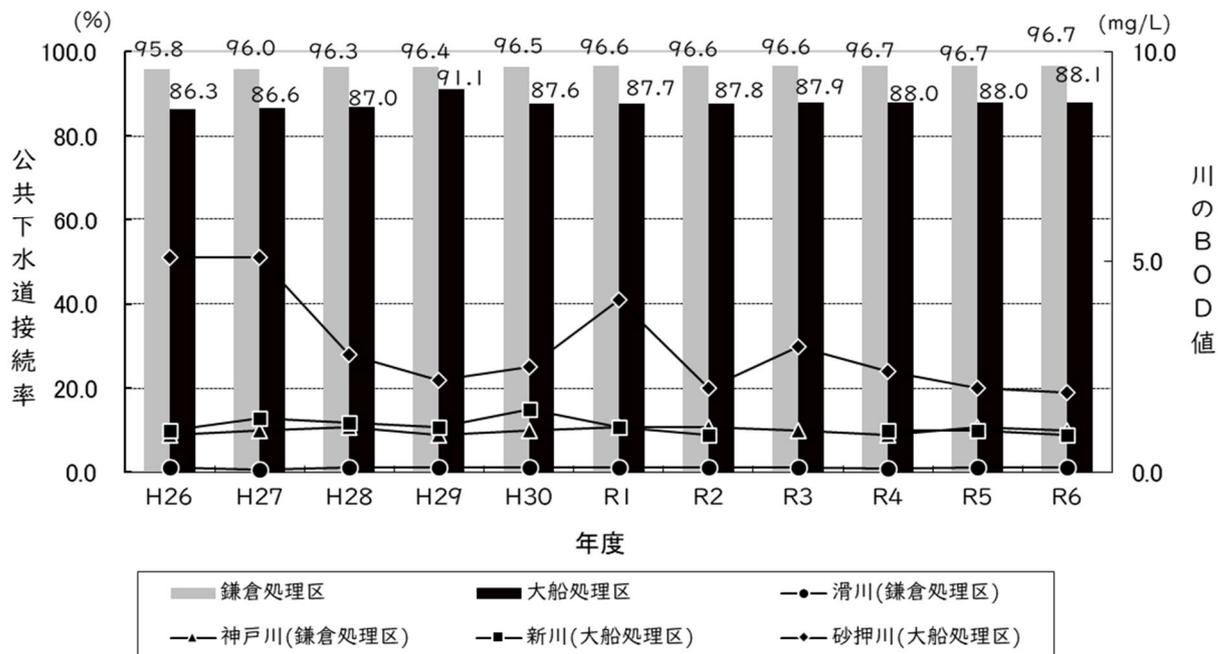


図3-2 公共下水道の接続率と市内主な川のBODの推移

※BODとはBiochemical Oxygen Demand(生物化学的酸素要求量)の略で、水の汚れを示す指標の一つで、値が大きいほど汚れが大きくなります。

※公共下水道接続率(%)=(水洗化人口)÷(行政区域内人口)

※各年度3月末日の数値

※BOD値は令和6年度(2024年度)までの実績を記載しています。

※BOD値は75%水質値を用いています。

※令和3年度(2021年度)の新川のBOD値の実績はありません。